

文化庁 文化審議会 文化政策部会

第2回 アート市場活性化WG説明資料

令和3（2021）年3月4日（木）

10:00-12:00

本日の議題

- 1) 第1回ワーキング・グループにおける主な意見
- 2) 日本におけるアートを取り巻く現状
- 3) 有識者ヒアリング
- 4) 議論

本日の議題

- 1) 第1回ワーキング・グループにおける主な意見
- 2) 日本におけるアートを取り巻く現状
- 3) 有識者ヒアリング
- 4) 議論

1) 第1回WGにおける主な意見（資料2参照）

- **本WGについて**

流通促進と社会的価値の創出という、2つの方向性からの検討が必要。
アート産業が他の産業や社会にどのようなインパクトを与えるかという視点が大事。

- **アート利用者の拡大について**

コレクターが絶対数に少ないので、アートに親しみを持てる環境を作ることが重要。
SDGsのゴールとアートを結びつける視点が、社会に開ききっかけになる。

- **アート市場の環境整備と学術的価値の向上について**

美術館の役割が重要。美術館の活動の活発化や、公的な鑑定評価制度の整備などが必要。

- **アートへの投資促進について**

アートの投資動機の源泉には、「所有価値」と「使用価値」の2種類があることを認識する必要がある。
アート市場の健全な発達には、「使用価値」に投資してくれる人の増加が重要。

- **公共の役割について**

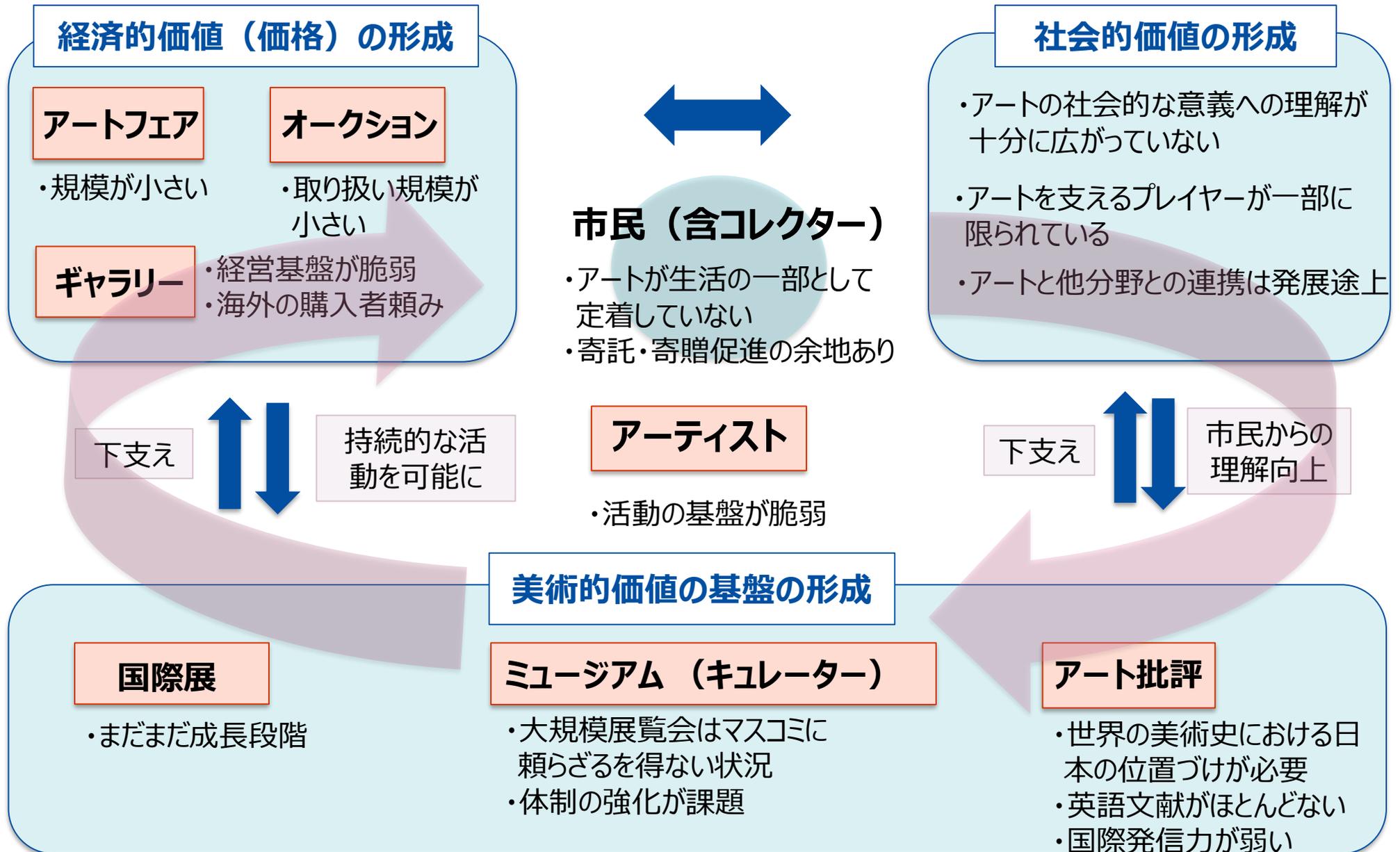
アート保有に係る根本的なモチベーションを醸成する取組を行うべき。
マーケットを担う事業者と美術館の関係性を橋渡しする役割を担うべき。
少額購入者の購入動機を高めるなど、民間では補えない部分を公共が担うべき。

本日の議題

- 1) 第1回ワーキング・グループにおける主な意見
- 2) 日本におけるアートを取り巻く現状
- 3) 有識者ヒアリング
- 4) 議論

2) 日本におけるアートを取り巻く現状

アーティストの持続的な活動を可能とする美術的価値・社会的価値・経済的価値の好循環を生み出す必要がある。



本日の議題

- 1) 第1回ワーキング・グループにおける主な意見
- 2) 日本におけるアートを取り巻く現状
- 3) 有識者ヒアリング**
- 4) 議論

3) 有識者ヒアリング

石山 徹 Ph.D.

**文化産業科学者、文化批評家、ブランド戦略コンサルタント、デザイナー
一般社団法人文化産業科学学会会長
一般社団法人文化産業科学研究所代表理事**

日本大学大学院総合科学研究科博士一貫課程修了、博士（学術）。脳医学・脳科学の世界的権威である林成之氏に師事。脳科学、心理学、経済学、芸術学、教育学を起点にした、融合科学的な視点から文化・芸術を基軸にした産業科学、ブランド戦略、批評、教育の研究（文化産業科学）を行う。学術論文、学術書多数。

2015年 東京農業大学客員教授就任

2015年 イタリア国際連合食糧農業機関（FAO）にて特別講演（共同）、学術書の出版

2015年 一般社団法人文化産業科学学会（査読付き学術論文雑誌を発行する正規の学術学会学会長に就任。

2019年 国際連合ニューヨーク本部で講演、学術書の出版

2019年 京都芸術大学客員教授就任

【専門分野】

脳科学や文化心理学、教育科学、芸術学などの学際的知見に基づいた「文化芸術のブランド化、批評、情報デザイン、各種コンテンツ開発」。近・現代美術の高付加価値化のシステム構築、日本伝統文化のグローバルブランド戦略。

本日の議題

- 1) 第1回ワーキング・グループにおける主な意見
- 2) 日本におけるアートを取り巻く現状
- 3) 有識者ヒアリング
- 4) 議論

4) 議論いただきたいこと

下記の点を含め、アート市場活性化に資する今後の政策の方向性について議論いただきたい。

- 1) アート利用者の拡大について
- 2) アート市場の環境整備と学術的価値の向上について
- 3) アートへの投資促進について
- 4) 上記 1) ~ 3) について、政府・文化庁が果たすべき役割について